



## 第62回「社会を明るくする運動」山科区大会 ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

法務省主唱の「社会を明るくする運動」は、今回で62回目を迎え、「更生保護の日」である7月1日から1カ月を強調月間として、全国各地で様々な活動が実施されます。

区内では、山科区大会が開催されます。今年度は、元関西テレビアナウンサーで現在は大阪芸術大学教授をされている桑原征平氏の講演や、青年ボランティア団体の京都中央地区BBS会による発表、区内の小中学校による合唱、演奏などが行われます。

講演では、長年にわたり国内外の取材で経験、痛感した具体例などを、

アナウンサーで培った軽妙な話術を用いて聴講者に熱く訴えます。

館内では区内の小中学校・総合支援学校から寄せられた絵画や書の展示も行います。(午後4時まで)

- 日時 / 7月8日(日)午後1時～
- 場所 / 東部文化会館(柳辻西浦町)
- 内容 / 【一部】式典 【二部】○桑原征平氏による講演「安心・安全のまちづくり!!」○発表「BBS～非行や犯罪のない社会を目指して～京都中央地区BBS会」○山階小学校5・6年生による合唱合奏○大宅中学校吹奏楽部による演奏
- 問合せ先 / 社会を明るくする運動山科区実行委員会(☎595-1221)

## ★男みがき塾★ (2回シリーズ)

♥魅力的な男性♥を目指して、男みがきをしませんか?

2回の講座で男前度アップ!しましょう(^^)

●対象 / 区内在住の18歳以上の男性で全2回参加できる方

●定員 / 20名

●持ち物 / 2回目のみエプロン・三角巾(手ぬぐい等)・手ふきタオル・調理材料費500円

●申込方法 / 6月15日(金)から7月2日(月)までに電話にて、お申し込みください。(先着順)

♪好評につき今年も開催します♪



	日時	場所	内容
1回目	7月4日(水) 午前10時～正午	山科区総合庁舎2階 大会議室	【実習】おやじ臭なんて言わせない! 歯も男も磨こう!!
2回目	7月11日(水) 午前10時～正午	山科区総合庁舎2階 栄養室	【調理実習】手軽でおいしく! 料理の腕を磨こう!!

●問合せ先 / 区保健センター成人保健・医療担当(☎592-3477)

## 区民壮年ソフトボール大会

5月13日(日)に第36回山科区民壮年ソフトボール大会が勤修寺公園グラウンドで開催されました。13学区の体育振興会チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。

- 優勝 大宅体育振興会チーム
- 準優勝 小野体育振興会チーム
- 三位 鏡山体育振興会チーム
- 三位 陵ヶ岡体育振興会チーム
- 優勝した大宅体育振興会チーム



は7月22日(日)(雨天時7月29日)に岩倉公園グラウンドで行われる京都市大会に山科区代表として出場されます。

●問合せ先 / 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

## 7月6日(金)☆京都橋大学にて七夕陶灯路

午後6時30分点灯～午後8時30分消灯



今年も京都橋大学において“七夕陶灯路”(七夕飾りと共に、地域の伝統産品である清水焼の陶器を用いた灯ろうを灯すイベント)を開催します。今年のテーマは“縁”です。多くの人に参加していただき、陶灯路の感動を共感し、同じ時間を共有してもらい

たいという思いでこのテーマにしました。

昨年と同様に吹奏楽部・箏曲部の演奏や、茶道部・和洋菓子研究会のお茶・お菓子の振る舞い、天文同好会のプラネタリウム、新たに室内での演出も予定しております。ぜひ、お誘い合わせの上、お越しください。

(小雨決行。雨天時は7月13日(金)に延期)

●問合せ先 / 京都橋大学(☎574-4186)

## 山科区農業祭

区内の農業者の方々が丹精込めて育てた質の高い農産物を、多数展示し品評会を行うほか、出品物を即売します。

農業祭は地域で育てた安心・安全で新鮮な野菜のほか、花苗の販売やパンフレット配布などを通して、区民の皆さんに地域の農産物を広く紹介します。

皆さん、ぜひお越しください。

昨年度の様子



- 日時 / 7月14日(土)午前10時～午後3時30分  
※台風など悪天候の場合は中止。  
※出品物の販売は、午後2時30分から開始。  
※買い物袋をお持ちください。
- 場所 / 山科区総合庁舎前広場
- 問合せ先 / 東部農業振興センター(☎641-4340)

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

## 第11回 区民活動きずなリレー

～大好きな山科を子どもたちに伝えたい～ やましなを語りつぐ会

区民の皆さんと作った「第2期山科区基本計画」が昨年4月にスタート!このコーナーでは計画に関する区民活動をご紹介します。

今回は、計画の5つの基本施策のうち「まちの魅力・観光を磨く」に関連して、山科の魅力を発掘し次世代に語りつぐ「やましなを語りつぐ会」の活動です。

「やましなを語りつぐ会」は、平成19年の区役所事業“写真集「モノクロームヤマシナ」”制作に参加した区民により結成されました。結成を呼びかけられた中村

さんは、「お借りした昔の写真をもとに、当時の暮らしについて多くの方にインタビューしたのですが、そのどれもが貴重なお話で感動しました。写真集が完成して改めて写真を眺めながら思い起こされた話には、これから生きていく上で見習うべき点も多く、子どもたちにそれらを語り継いでいきたいという思いが強くなったのです」とのこと。10名で発足した会は、今では30名になっています。

取り組みは、27回に及ぶフィールドワークを中心に定例会で研究

報告などを重ねてきました。地元の方々から昔の様子や暮らしをお聴きしたり、先人の熱意により疎水から水を引き完成した農業用水路の調査などを通じて、山科への理解と愛着が深まってきたそうです。



フィールドワークの様子

掘り起こした成果は、会誌「笹の音」に掲載します。また、毎年区民まつりで、古民家・地藏盆・用水路などのテーマを設定して展示し、子どもたちにも知ってもら

おうと紙芝居にして上演しています。そのほか、平成20年からは、区民と区役所の協働で冊子「京都山科 東西南北」の編集や、魅力を訪ねるツアーにも協力しています。

会の代表の土山さんは、「これからは小学生にも伝えていきたい。また、掘り起こした成果はまとめて出版したい」と展望を語ってくださいました。

山科に脈々と受け継がれてきた歴史や伝統の積み重ね。今回、それを次の世代につないでいく「やましなを語りつぐ会」の取り組みを伺って、一層、山科の魅力が確認できました。

●問合せ先 / 区総務・防災担当(☎592-3066)